

1:43 その翌日、イエスはガリラヤに行こうとされた。そして、ピリポを見つけて、「わたしに従って来なさい」と言われた。

1:44 彼はベツサイダの人で、アンデレやペテロと同じ町の出身であった。

1:45 ピリポはナタナエルを見つけて言った。「私たちは、モーセが律法の中に書き、預言者たちも書いている方に会いました。ナザレの人で、ヨセフの子イエスです。」

1:46 ナタナエルは彼に言った。「ナザレから何か良いものが出るだろうか。」ピリポは言った。「来て、見なさい。」

1:47 イエスはナタナエルが自分の方に来るのを見て、彼について言われた。「見なさい。まさにイスラエル人です。この人には偽りがありません。」

1:48 ナタナエルはイエスに言った。「どうして私をご存じなのですか。」イエスは答えられた。「ピリポがあなたを呼ぶ前に、あなたがいちじくの木の下にいるのを見ました。」

1:49 ナタナエルは答えた。「先生、あなたは神の子です。あなたはイスラエルの王です。」

1:50 イエスは答えられた。「あなたがいちじくの木の下にいるのを見た、とわたしが言ったから信じるのですか。それよりも大きなことを、あなたは見るようになります。」

1:51 そして言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。天が開けて、神の御使いたちが人の子の上を上り下りするのを、あなたがたは見るようになります。」

ナタナエルは初め、「ナザレから何か良いものが出るだろうか。」と、イエス様に対して懐疑的でした。

た。しかしイエス様は、まず彼を受け入れ認めたのでした。「いちじくの木の下にいる」というのは、祈りや礼拝を表わすからです。当時多くの人はそこを祈りの場としていたようです。

このように懐疑的な人はいるものです。しかし、ナタナエルが後にイエス様の弟子となったように、人の未来と可能性は分らないものです。今はどうあっても、主の可能性を信じてみましょう。そして、イエス様がその人を認めてあげたように、私たちも信じない人の良き面を認めつつ、尊重しつつ伝道しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

